

1. 蒸發 2. 融解 3. 昇華 4. 凝縮

1. 乾燥劑 2. 凝結核 3. 觸媒 4. 沸騰石

1. コップの表面付近の空気が冷やされて露点に達し、水蒸気が凝結して水滴が付着したため
2. コップの中の氷が溶けて水になり、金属の隙間から外側に染み出てきたため
3. 水温が下がることで空気中の飽和水蒸気量が増加し、空気中の水分が吸収されたため
4. コップの表面で化学反応が起き、金属が酸化して曇りが発生したため

1. 気圧が下がることで空気の密度が高まり、水蒸気分子が衝突して液体の水に変わるから
2. 気圧が下がることで空気の体積が膨張し、温度が下がることで水蒸気が凝結して水滴に変わるから
3. 空気を抜くと容器内の水が激しく蒸発し、その際に周囲から潜熱を奪うことで温度が下がるから
4. 容器内の空気を抜く際に、水蒸気そのものが容器の外へ排出されることで温度が下がるから

1. 大陸は海洋よりも温まりやすく冷めやすいため、夏は大陸の気圧が低くなり、冬は大陸の気圧が高くなるから。

2. 地球の自転の影響により、大陸の上空では夏に上昇気流が、冬に下降気流が固定されて発生しているから。

3. 海洋は大陸よりも温まりやすく冷めやすいため、夏は海洋の気圧が低くなり、冬は海洋の気圧が高くなるから。

4. 大陸と海洋では常に海洋の方が温度が高いため、夏と冬の太陽高度の変化によって風の通り道が変わるから。

1. この空気の露点は25℃であり、1℃まで冷やすと水蒸気量は減少する。 2. この空気の露点は0℃であり、15℃ではまだ水蒸気に余裕がある。 3. この空気の露点は15℃であり、15℃のときの湿度は100%である。 4. この空気の露点は15℃であり、25℃のときの湿度は100%である。

1. 前線の通過とともに乾燥した空気が流れ込み、上昇気流が継続的に発生するため。
2. 移動性高気圧と低気圧が交互に短時間で通過し、天気が周期的に変化するため。
3. 太平洋高気圧がオホーツク海高気圧を急速に押し流し、日本列島を北へ縦断するため。
4. 性質の異なる2つの高気圧の勢力がほぼ同じであり、前線が日本付近に留まり続けるため。

1. 北側の冷たい気団と南側の暖かい気団の勢力がほぼ等しく、前線が南北にあまり動かないため
2. 寒冷前線が温暖前線に追いつき、閉塞前線となって消滅する直前の状態が維持されるため
3. 発達した低気圧が日本列島の上空で静止し、反時計回りの風を送り続けるため
4. 移動性高気圧が次々と日本列島を通過し、湿った空気を供給し続けるため

1. 1.5kg 2. 1.9kg 3. 19kg 4. 0.75kg

1. 12% 2. 68% 3. 15% 4. 80%

1. 飽和水蒸氣量 2. 蒸散量 3. 露点 4. 湿度

1. フラスコ内が白くくもり、温度が上がる

(2025年 群馬県公立入試 類似)

1. 気温の低下によって分母の飽和水蒸気量が大きくなり、割り算の商が大きくなるため
2. 気温の低下によって分子の水蒸気量が小さくなり、割り算の商が小さくなるため
3. 気温の低下によって分母の飽和水蒸気量が小さくなり、割り算の商が大きくなるため
4. 気温の低下によって分子の水蒸気量が大きくなり、割り算の商が大きくなるため